

## 「山形県看護職就職ガイドブック2020」の 作成にあたって

山形県健康福祉部長 玉木 康雄

我が国の医療を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化の急速な進行、医療技術の進歩や医療ニーズの多様化など大きく変化しております。

このような中、山形県では、看護師不足を解消し、多様な医療ニーズに対応した質の高い医療・看護サービスを提供していくため、全国に先駆けて平成24年3月、「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」を策定し、「学生の確保定着」、「キャリアアップ」、「離職防止」及び「再就業促進」を4つの柱として看護師等養成機関、病院、関係機関等と一体となって、看護師確保対策を総合的に推進してきました。

今般、団塊の世代が75才以上の後期高齢者となり、医療や介護に大きなニーズが見込まれる2025年における山形県看護職員需給推計を行った結果、引き続き看護職員が不足することが見込まれたことから、当該サポートプログラムの見直しを行い、現在の看護師確保対策をより充実することで、看護職の皆さんが生涯に渡って高いモチベーションを維持し、離職することなく、生き活きと働き続けられる環境づくりを進めていくこととしました。

「山形県看護職就職ガイドブック2020」は、山形県への就業促進に向けて魅力ある医療機関の情報を広く提供し、新規採用者のみならず、山形県へのU・Iターン希望者や、再就業を希望される方など、ひとりでも多くの看護職が山形県内での就職を希望されることを願って作成しました。

山形県は四季折々豊かな自然があり、35市町村全てに温泉が湧き出る「温泉王国」です。また、「つや姫」や「雪若丸」、「さくらんぼ」、「日本酒」など、「美食・美酒」にあふれており、「おいしい自然・おいしい食べ物」が満喫できる住みやすい県であります。

この就職ガイドブックにより、県内の病院への理解を深め、多くの看護職の皆様が山形県でご活躍いただくことを心から期待いたしております。



## 「山形県看護職就職ガイドブック2020」の 発行にあたって

公益社団法人山形県看護協会長

山形県ナースセンター長 井上 栄子

日本は超高齢社会に突入し、働き手の減少が大きな問題となっています。これからは労働者の確保が厳しい状況になると予測され、看護職をどのように確保していくか等、大きな課題となっています。

人々が健やかに生まれ育ち、疾病や障害があっても地域において生活を続けるための地域包括ケアシステムの構築・推進は、地域共生社会の基盤であり、医療と生活の両方の視点を持つ看護職は重要な役割があり、在宅から病院等、あらゆる場で質の高い看護の提供が求められています。

山形県看護協会では、県より委託を受けてナースセンター事業を実施しております。ナースセンターは看護職の無料職業紹介所としての機能を持ち、看護職の就業相談、事業所の求人相談に対応しています。また、看護職の確保・定着、離職防止のために、多様な働き方の促進に取り組み、看護職のニーズに対応できるよう支援しております。他には、潜在看護師の掘り起こし事業や復職支援等その事業内容は多岐にわたっています。2019年度は、看護に関する情報提供として、「LINE@」を導入しましたので、ご利用いただければと思います。

さて、この度、山形県ナースセンターでは、「山形県看護職就職ガイドブック2020」を作成しました。これから就職する看護学生や再就職を検討されている方、山形県へのUターン・Iターン希望者等の皆様に活用していただきたいと思います。各病院等の概要や特徴、雰囲気や伝わるように写真を多くし、県内の67病院のほかに、28の訪問看護ステーションも掲載し魅力ある内容になっております。「山形県看護職就職ガイドブック2020」が多くの方々にご活用いただき、看護職が山形県内の病院・訪問看護ステーション等への就業につながっていくことを期待して挨拶いたします。